

詳細な中国人被害者名簿があります。

徐連道	李春典	李廷雄	朱上巖	潘書南	樓正山	朱貴芳	葉應言	王仲魁	王廷星
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上



留学生王希天は9月12日未明、逆井橋のふもとで、戒嚴軍将校に密殺されました。

700人以上（調査によってまだ増えています）の中国人被害者の氏名、年齢、本籍、現住所、被害場所・日時、被害状況、加害者、損失物、目撃者などの詳細な記録があります。

日本政府は 2003年 日弁連勧告に従え

日弁連は2003年8月25日に内閣総理大臣に対して以下の勧告書を出しました。

- 1、国は関東大震災直後の朝鮮人、中国人に対する虐殺事件に関し、軍隊による虐殺の被害者、遺族、および虚偽事実の伝達など国の行為に誘発された自警団による虐殺の被害者、遺族に対し、その責任を認めて謝罪すべきである。
- 2、国は、朝鮮人、中国人虐殺の全貌と真相を調査し、その原因を明らかにすべきである。

100年目のいまこそ実現を！

関東大震災中国人受難者を追悼する集い実行委
〒136-0071 東京都江東区亀戸6丁目57番19号
丸字本社ビル6階 亀戸法律事務所気付
電話：080-1142-2515
郵便振替・口座番号：00130-8-359604
名称：関東大震災中国人受難者を追悼する会

日本政府は 1923年 関東大震災時の 朝鮮人・中国人虐殺 の事実を認め真相 を明らかにせよ！

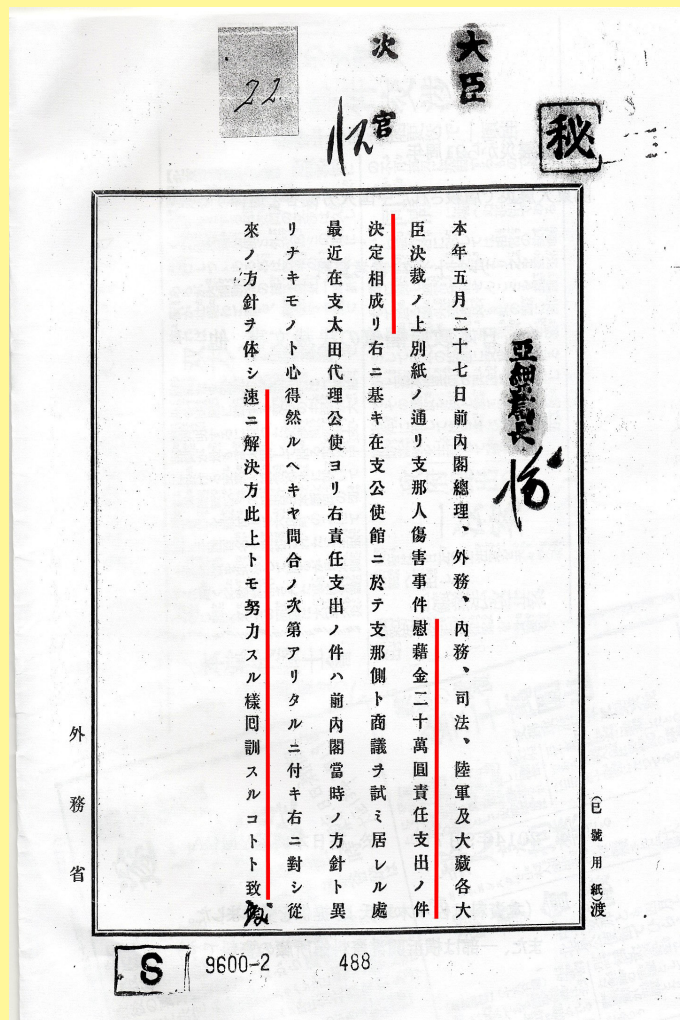


日本政府は 1924年 に決定した中国人 被害者への賠償を速 やかに実行せよ！

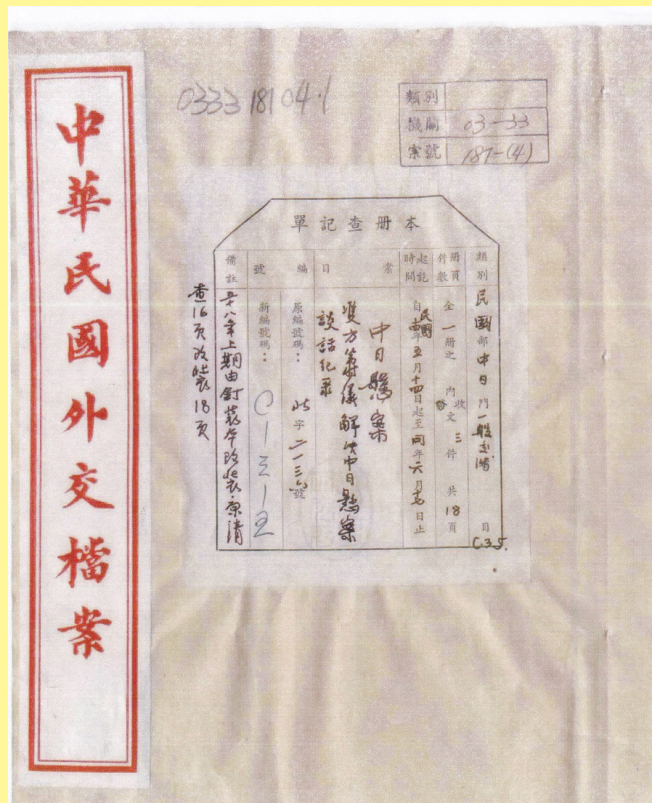
100年目のいまこそ実現を！

日本政府は賠償の責任 支出を決定しました。

日中交渉は行われていま した。



1924年5月27日、清浦内閣は「内乱又は暴動による不法行為と国家の責任」に関する国際法上の原則を調査し、中国人被害者に20万円の責任支出を決定しました。



日本政府は、中国政府との間で賠償交渉を行っていましたが、しかし、1925年6月6日と6月12日の交渉以来、「時局のため」という理由で交渉は中断しています。日本政府にはその後も「日中懸案事項」として残されていると確認した文書が残っています。

いまこそ中断した交渉の 再開を求めます。

中国人被害者遺族の訴え（抄）

1. 日本政府は国家としての責任を負い、この歴史事実を認め、1923年関東大震災時に虐殺された中国人労働者、商人、及びその遺族に対して謝罪すること。
2. 1924年の日本政府（清浦内閣）決定の賠償方針を現行の国際慣例と物価水準に照らし、受難者数の修正を行った上で実施すること。
3. 歴史を鑑とし、次の世代にこの歴史事実を伝える為に、受難の地に記念碑を建立すると共に、中国人・朝鮮人の虐殺を伝える歴史記念館を建設すること。
4. 日本の歴史教科書にこのことを記載し、日本の若い世代にこの歴史を知らしめ、その中から教訓を得られるようにすること。

1923年9月の関東大震災では、6000人におよぶ朝鮮人が虐殺されたことはよく知られていますが、同じ時に東京、神奈川近辺で、700名を超える中国人労働者が、軍隊、警察、民衆により虐殺されました。

中国人犠牲者のかなりの部分は、現在の東京都江東区大島町周辺で、9月3日、朝から夜にかけて集中的に虐殺されました。また、彼らの権利擁護に奔走していた「僑日共済会」の責任者である留学生の王希天は、9月12日、野戦重砲兵第1連隊将校に密殺されました。

事態を重視した中国政府は、王正廷を団長とする調査団を派遣し、「犯人の処罰、遺族への補償、在日中国人の安全確保」を日本政府に要求しました。しかし、日本政府は、虐殺の事実を隠ぺいし、中国との間で交渉を開始したものの、いったんは閣議決定した遺族への補償も、いまだに履行していません。

よびかけ人（2013年9月）
 内海愛子（恵泉女学園大学名誉教授）／梶村太一郎（在ベルリン ジャーナリスト）／加瀬純二（ふれあい江東ユニオン事務局長）／川見一仁（中国人強制連行を考える会事務局長）／清井礼二（弁護士）／小林祥二（カトリック潮見教会・司祭）／佐々木幸孝（弁護士）／高橋哲郎（元中帰連事務局長）／田中宏（一橋大学名誉教授）／段躍中（日本僑報社編集長）／山内小夜子（真宗大谷派僧侶）／凌星光（社団法人日中科学技術文化センター理事長）／林伯耀（旅日華僑中日交流促進会代表）